

# 次世代に長崎の被爆体験をどう伝えるか

2023.10.17

林田 光弘



## 林田 光弘

長崎大学 核兵器廃絶研究センター（RECNA） 特任研究員  
一般社団法人 Peace Education Lab Nagasaki 代表理事  
一般社団法人 長崎みんな総研 理事

長崎・浦上出身

高校生 1 万人署名活動（2007.7-2011.3）

高校生平和大使/ジュネーブ国連欧州本部（2009-2010）

核兵器廃絶地球市民集会長崎メンバーとしてNPT再検討会議に参加（2010.5）

明治学院大学国際学部国際学科（2011.4-2016.3）

NPO法人ピースデポユースとしてNPT再検討会議に参加（2015.5）

ヒバクシャ国際署名キャンペーンリーダー（2016.4-2021.3）

長崎大学核兵器廃絶研究センター 特任研究員（2021.7-）



## 銭座小学校 火のトンネル

小学校6年生の時の図工担当馬場務先生による取り組み  
林田は取り組みの1期生  
銭座小学校では今も続く伝統に発展



※ 長崎新聞



※ 西日本新聞

## 高校生平和大使 高校生一万人署名活動

中学3年－高校3年生まで

- ・ 第12代高校生平和大使（ジュネーブ）
- ・ 第10代高校生一万人署名活動メンバー



※ 朝日新聞



※ 2015年の様子

## 2010年NPT再検討会議

## 核兵器廃絶地球市民集会長崎

吉田勝二さんの紙芝居（桜馬場中学校作成）を各学校で披露  
明治学院大学の高原先生との出会い



## ヒバクシャ国際署名

- 2016-2020年
- 国内外で1370万人以上の署名が集まる
- 核兵器禁止条約の発効に貢献



## 長崎大学核兵器廃絶 研究センター (RECNA)

REsearch Center for  
Nuclear Weapons Abolition,  
Nagasaki University



RECNAの取り組み

### 1. 調査研究・政策提言

RECNAは、世界にも例を見ない核兵器廃絶に焦点をあてたシンクタンクです。核兵器に依存しない安全保障の実現に向けて、日本政府及び国際社会に具体的な政策提言を示すべく、関連テーマでの研究と発信を進めています。

#### ■北東アジア非核化の実現への貢献

朝鮮半島非核化が外交課題になっていますが、これをどのようにして日本を含む北東アジア非核化につなげていくか。この地域の安全保障環境を改善し、世界的な核軍縮努力にもつなげていく「北東アジア非核兵器地帯」構想の実現をめざすプロセス（「ナガサキ・プロセス」）に貢献すべく、韓国、米国、中国、ロシア、オーストラリア、モンゴル等の研究者が参加する「北東アジアの平和と安全保障に関するパネル」（PSNA）を2016年に設置しました。韓国や米国の研究機関とも協力して、具体的な政策提言に取り組んでいます。

#### ■「脱核抑止」に向けた専門的分析

長崎大学は、RECNAが編集し、英国のテイラー&フランシス社が出版する英文の学術誌「J-PAND: Journal for Peace and Nuclear Disarmament」（「平和と核軍縮」）を2017年12月に発刊しました。主な目的は、理論・政策の両面に関する研究を通じて、核軍縮と平和の促進に寄与していくことにあります。核抑止に依存しない非核兵器国（とくに非核兵器地帯の国々）の考えを、核廃絶に向けた専門的な議論に反映させることも大事な目的です。RECNA叢書やRECNAポリシーペーパーの刊行も継続し、非核世界の実現に向けた研究、発信の国際的拠点の役割を担っていきます。



### 2. 教育・人材育成

被爆者の高齢化が進むなかで、次世代を担う若者の育成が一段と重要性を増しています。核兵器の非人道性、核抑止依存のリスクを自らの言葉で考え、伝えていく新たな担い手が必要不可欠です。RECNAではさまざまな機会を通じて、大学生・院生を中心とした若い世代の人材育成に取り組んでいます。

#### ■軍縮・不拡散教育の推進

長崎大学の多文化社会部で1年次から4年次まで核軍縮・不拡散を体系的に学べるよう講義・演習の構築を進めています。また、全学共通の教養科目として、日本語および英語で核軍縮・不拡散の入門科目を開講しています。2018年度から大学院の多文化社会学研究科の修士課程、2020年度からは博士後期課程に「核軍縮・不拡散」専門コースを開設し、高い専門知識と被爆地の視点や感受性を併せ持つ人材の育成に取り組んでいます。

#### ■「ナガサキ・ユース代表团」の活動支援

2012年10月に核兵器廃絶長崎連絡協議会（会長：長崎長崎大学特命教授）が誕生しました。長崎県、長崎市、長崎大学の三者による核兵器廃絶のための協議会です。その事業のひとつが、核兵器廃絶の次世代を担う人材の育成事業「ナガサキ・ユース代表团」のプロジェクトです。ナガサキ・ユース代表团では、毎年メンバーを公募、選考し、選ばれた若者たちが、核軍縮・不拡散に関する学習、聞き取り、フィールドワーク、国際会議への派遣、出前講座、報告会等の様々な体験をします。RECNAは協議会と連携し、この事業の企画運営を全面的にサポートしています。



### 3. 市民社会への情報発信

「長崎を最後の被爆地に」との想いに応える「市民のためのシンクタンク」としての役割も多岐にわたります。中でも大事なのが、核兵器廃絶に役立つ国内外の情報・資料を整理、分析し、関心を持つ市民が自由にアクセスして、知識を広め問題の理解を深めていただけるような情報発信です。

#### ■「市民データベース」の構築

国連文書、各国政府の政策など、核軍縮・不拡散問題に関する多様な文献、資料を日英両語で提供するデータベースを作成しています。世界の核弾頭や核分裂物質のデータについては毎年、大型のポスター、リーフレットを作成し、RECNAのホームページで公開するだけでなく、国内外の研究・教育機関に配布しています。

#### ■被爆地のためのシンクタンク

RECNAは、核兵器廃絶長崎連絡協議会と連携して、定期的な市民公開講座を開催しているほか、主に外国から専門家を招いた特別市民セミナーも随時開くなど、さまざまな市民向けの事業を展開しています。

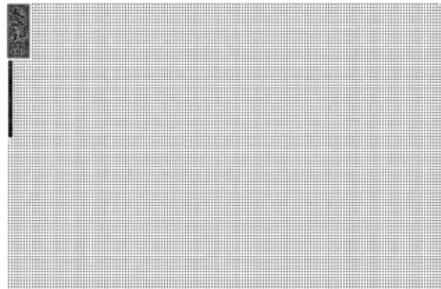
## 長崎新聞 平和広告



### 2020 長崎新聞平和企画

平和公園の石畳を原寸大で再現

- ・アジア太平洋広告祭(アドフェスト2021)銅賞
- ・日本新聞協会「第41回新聞広告賞」  
新聞社企画・マーケティング部門新聞広告賞



### 2021長崎新聞平和企画

13,865の黒い点は世界にある核兵器数、  
2つの赤い点は原爆を投下された広島と長崎。

- ・スパイクスアジア Print&Publishing 部門銅賞
- ・アジア太平洋広告祭(アドフェスト2022)銀賞
- ・D&ADアワーズ2022 金賞(イエローペンシル)



### 2022 長崎新聞平和企画

わたしたちの奪われた日常展。  
東松照明作品と現代長崎の日常との対比。



被爆者から受け取った思い



写真：朝日新聞

**吉田 勝二 さん**

**2010年4月1日 死去**

“平和の原点はひとの痛みがわかる心を持つ事”



写真：毎日新聞

井原 東洋一 さん

2019年7月30日 死去

“戦争には勝者も敗者もない”



## 石田 忠 さん 2011年1月 死去

一橋大学名誉教授。社会調査家として生涯、被爆者に教わる姿勢をつらぬく。1977被爆問題国際シンポジウムにおいて 〈原爆と人間〉の視点 を提起する。日本被団協の「原爆被害者調査」の企画・分析に携わるなど、原爆被害の全体像研究、被爆者援護法の理論化に多大な貢献をした。

**被爆者自身が今日までの被爆体験を抱えながら**

**「ふたたび被爆者をつくらせない」と行動し続けることが、**

**原爆の反人間性の根拠であり、**

**この立場は「核の時代に生きる私たち」も同様でなければならない。**

1981年8月8日「原爆を裁く国民法廷」の審判文一部（石田、1983）



谷口 稜曄 さん

2017年8月30日 死去

私たち被爆者がもし一人もいなくなったときに、  
どんな形になっていくのか、それが一番怖い。

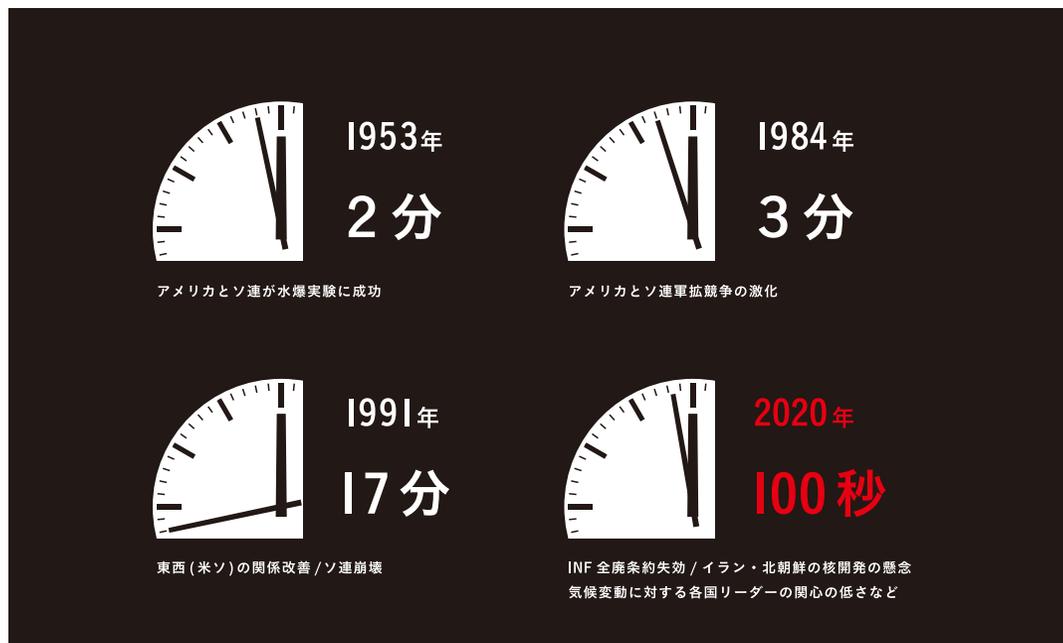
# 核兵器をめぐる現在の状況

## 世界終末時計

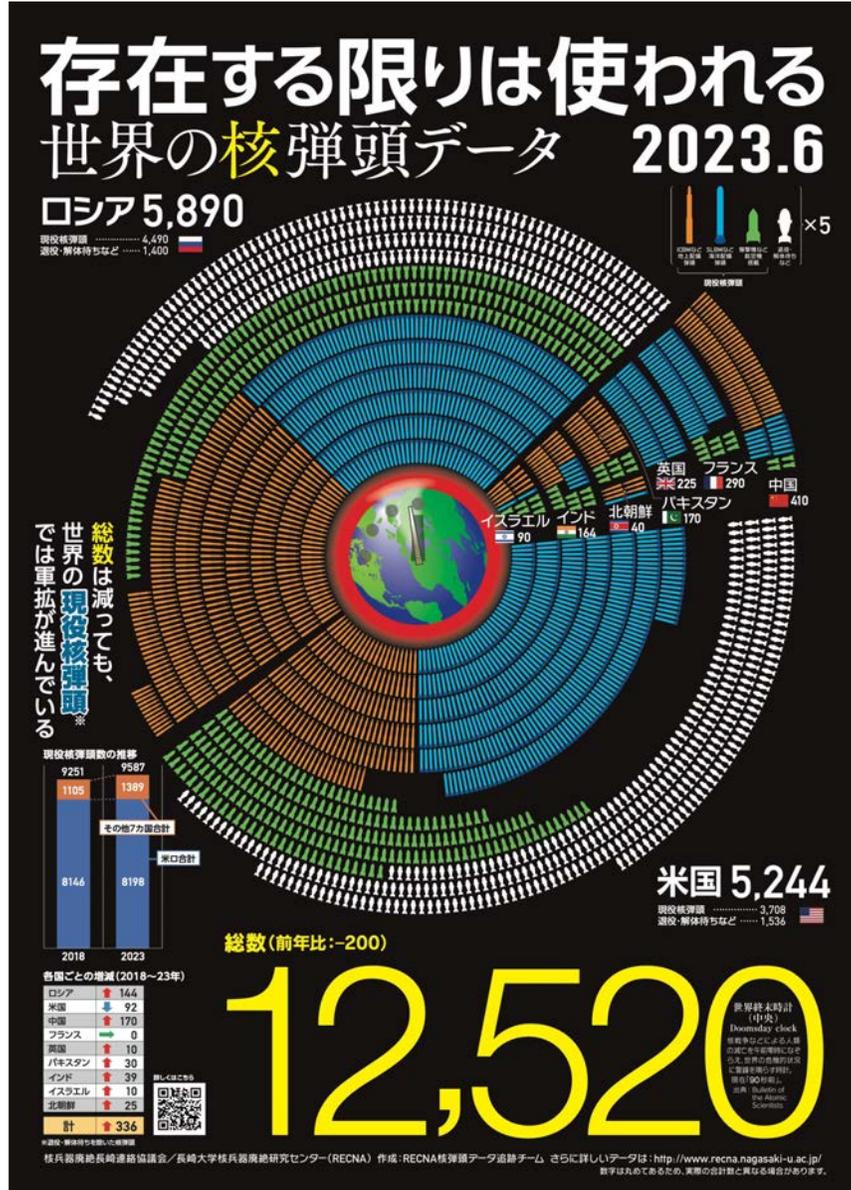
### 人類の終末まで「残り90秒」

2023年1月24日（金）（米国時間）2023年の終末時計が発表され、過去最も終末に近づいた。

終末時計は、米国の原子力科学者会報（Bulletin of the Atomic Scientists）が1947年以来定期的に発表しているもので、核戦争などによる人類の終末を午前0時とし、その終末までの残り時間を「あと何秒（分）」という形で示されている。



写真：Bulletin of the Atomic Scientistsのwebサイトより



## いまだに 1 万発を超える 核兵器が存在する

米国・ロシアの核兵器保有数が減少した一方、英国・中国・インド・パキスタン・北朝鮮の核兵器保有数は増加している。総数としては減少傾向にあっても、配備・非配備を含めた「現役」の核弾頭の削減幅はきわめて限定的であり、核軍縮が進んでいるとは到底言えない状況にある。

2021年1月22日

核兵器禁止条約が発効

核兵器は国際法で違法に

署名国 93か国

批准国 69か国

※ 2023年9月19日現在

NO NUKES FUTURE! TPNW  
核なき未来を! 核兵器禁止条約をスタートに 2021

NO NUKES FUTURE!  
TPNW 2021

— 2022年2月24日：ロシアによるウクライナ侵攻開始 —

**核戦争の可能性が再び現実のものになった。**

2022年3月14日 国連事務総長 アントニオ・グテーレス

2023年6月

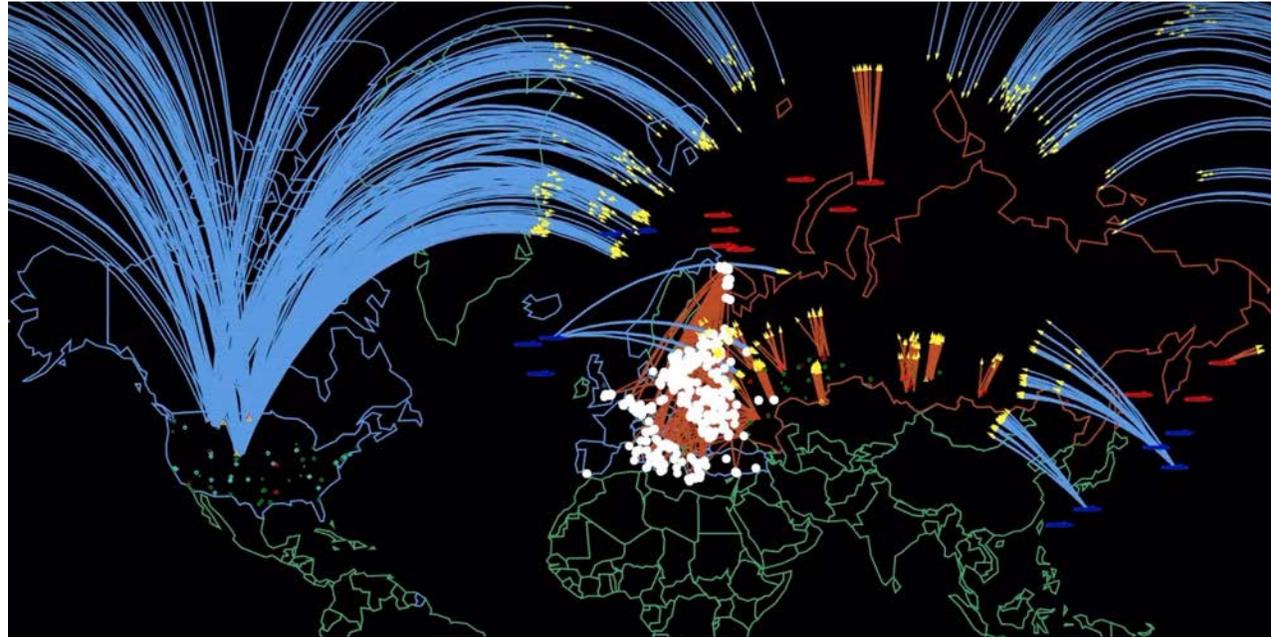
ロシアが隣国のベラルーシ（ウクライナの北）に戦術核を配備  
配備された核兵器は広島・長崎の3倍の威力を持つ

2023年6月19日

ロシアのプーチン大統領による戦術核兵器使用の脅威は「現実的」だ。

アメリカ・バイデン大統領

## PLAN A



- アメリカ・プリンストン大学が2019年に公開したロシアとNATO間で戦争が行われる際のシュミレーション動画
- ヨーロッパにおける1発の核兵器の警告発射が引き金になり核戦争が起こり、わずか数時間で9000万人以上の死傷者が出るという予測

## 軍拡へ世界の方向転換が進む

### 日本

- 安保3文書（国家安全保障戦略／国家防衛戦略／防衛力整備計画）
- 防衛費倍増（2027年度には倍増-世界3位の軍事大国へ-）

### 海外

- 欧州各国：軒並み軍拡（ドイツも国防費をGDP比1.5→2%）
- 韓国：大統領による独自核武装に言及

今、感じている危機感

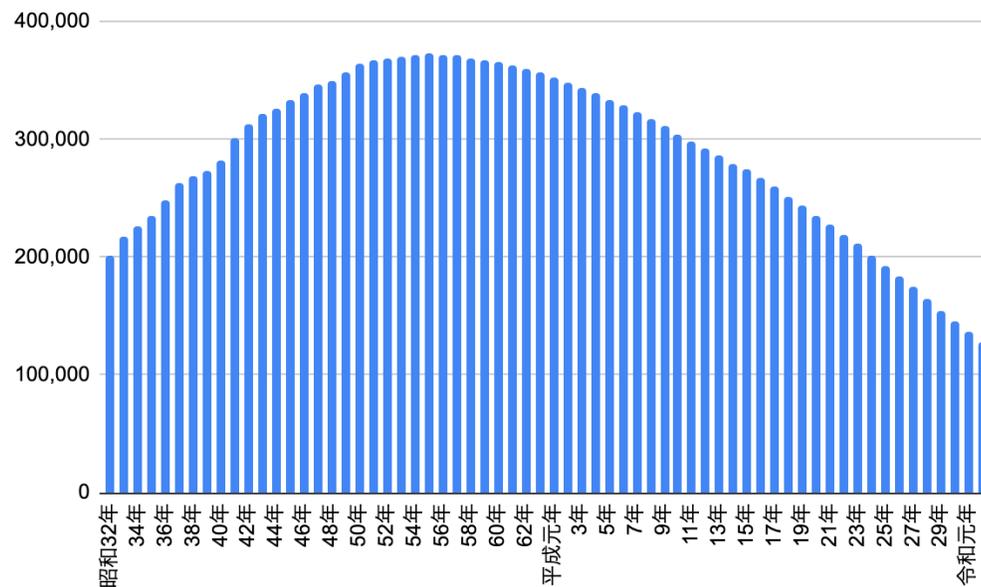
必要悪としての核兵器が幅を広げ

絶対悪としての核兵器が置き去り

核兵器が人間の尊厳を奪う兵器であるという認識は置き去りにされたまま、核軍拡へ世界が踏み出していること

# 被爆地・長崎の現状と課題

# 被爆者に残された時間はわずか



図：厚生労働省の被爆者（被爆者健康手帳所持者）数の推移より作成

被爆者の平均年齢は85.01歳  
被爆者のいない時代は  
間近にせまっている

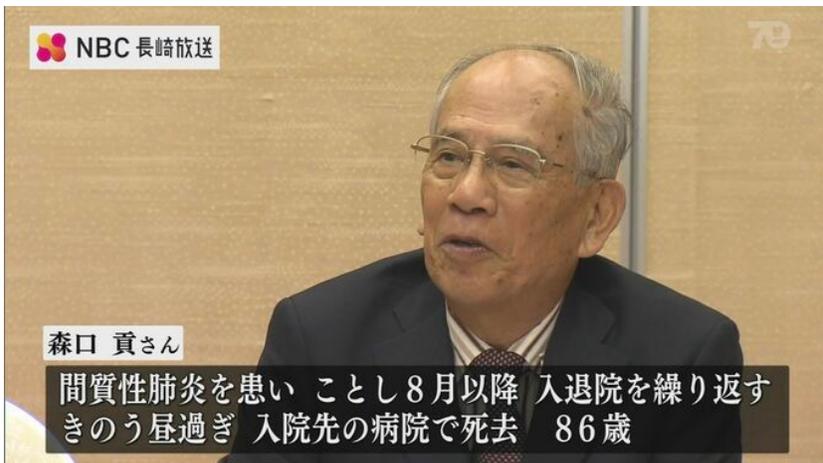
被爆者の数は2022年3月末時点で全国で合わせて11万3649人

※ピーク時は1980年の36万8259人

2022年度は5286人減った。

10年後の子ども達は被爆証言を直接聞くことが難しいかもしれない。

# 被爆地・長崎の現状と課題



写真：NBC



写真：NHK



写真：テレビ東京



写真：NBC



写真：NHK





## 被爆者に頼ってきた活動

- 被爆体験を伝える活動
- 核兵器廃絶のための活動
- 実態調査・記録活動

- 親族に戦争体験者・被爆者がいない  
人たちも増えてきている
- 当事者中心から非当事者中心へ
- 市民運動・活動の変容
- 人口減（とりわけ現役世代の減少）

10年後の被爆地長崎を考える

非当事者の私たちが

「被爆体験」を

どう語り継いでいくのか

原爆ドームや平和祈念資料館などの「ミュージアム」を訪れ、何名かの「戦争体験者」の話を聞いて、最終的に「戦争は絶対にダメ」ということを学ぶ。戦後ずっとくり返してきた日本の夏の風物詩であり、それを日本では「平和教育」と呼んでいる。

もちろん、それは大切なことだと思う。でも、学生時代の私自身を振り返ると、結末を知らされた映画を何度も観ているみたいで、「戦争は絶対にダメ」を繰り返されることに少々辟易してたのも事実だ。正直に言えば、「そんなことは言われなくてもわかってるよ」と心のなかでは思っていた。

被爆前の日常にフォーカスを当てる

長崎にやってくる修学旅行生の意識は“長崎といえば原爆”である。それはそうだが、原爆は平時のある日あるとき、突然空から降ってくるものではない。そのとき、日本は戦争をしていたという当たり前のことが、ともすれば忘れられていることに注意を喚起したい。

—山川剛（2008）『希望の平和学「戦争を地球から葬る」ための11章』長崎文献者

被爆者/元小学校教員

山川 剛さん



## 戦争の記憶の仕方

### 【日本】

#### 被害の記憶と終わった日

- 8月6・9日：原爆が投下された日
- 8月15日：終戦記念日

※現在日本では加害の記憶を想起すると

「反日」「自虐史観」と反発する声も多い

### 【ドイツ】

#### 加害の記憶とはじまった日

- 1月27日：アウシュヴィッツが連合軍によって開放された日
- 1月30日：ナチス内閣発足

参考

森達也（2015）『すべての戦争は自衛意識から始まる「自分の国は血を流してでも守れ」と叫ぶ人に訊きたい』ダイヤモンド社

伊藤剛（2015）『なぜ戦争は伝わりやすく 平和は伝わりにくいのか』光文社新書

## アウシュビッツの視点にヒントを得る

- 歴史を継承するには生還者の言葉を正確に伝えることが大切ですが、一方で、『なぜこんな悲劇が起きたのか』という理由や背景を生還者に求めるのは困難。そこは戦争を経験していない、案外遠いところの外国人の方が、客観的に捉えられることがある
- 生還者で元館長の故カジミエシュ・スモレンさんは、ドイツ人の来訪者にも『あなたたちに戦争の責任はない。でも、なぜ起きてしまったのかを考え、二度と繰り返さないように行動する責任はある』
- 当事者が語ってきたことを元に、事実を誇張して伝えるのではなく、「これを繰り返さないためにはどうしたらいいのか」という問いを深めていくことが重要

## 当時と今の「違い」だけではなく 「共通点」を見つけること

今と当時が地続きであるという感覚を養うことから始める。そののちに「当時の人たちはなぜ戦争を止められなかったのか」「反対しなかったのか」を深掘りして教訓にするきっかけに。

当時と暮らし、日常を知ること

原爆が奪ったものを想像すること

被爆前の長崎の

街並みや

人々の暮らしがわかる

写真を探しています。



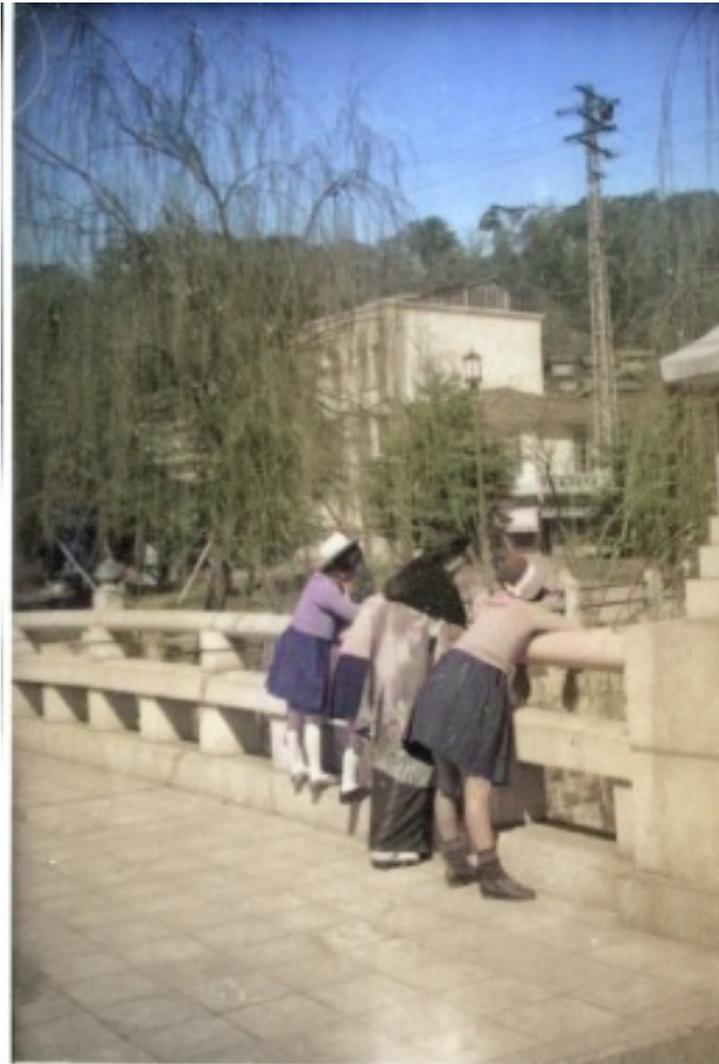
被爆者が生きた長崎を残したい



詳しくはこちら



# 被爆前の日常にフォーカスを当てる



※：提供いただいた写真をフォトショップのニューラルフィルターを使用してカラー化したもの

馬の頭の四輪車に乗ってるのが私です。隣の姉が乗っているのを当時は「スケート」と呼んでました。今で言うキックボードですね。当時としては流行りの洒落たおもちゃでした。

**解説** 三瀬さんは7人きょうだいの2番目。昭和時代の前半、労働力や兵力を支える人口を増やそうと、国を挙げて出産が奨励された。「産めよ、殖やせよ」といったスローガンまで登場。7人きょうだいは珍しい人数ではなかった。

1936〜7年頃撮影（三瀬商店前）左から姉、三瀬さん、祖母、母



学校では英語の授業もあって、単語を覚えるために文具店でカードを買い、表に英単語、裏に日本語を書いて勉強しました。私が入学した頃はアメリカ人の宣教師もいました。だから『鬼畜米英』の風潮が強まったときも、そうは思いませんでし、占領下では英語で米兵とコミュニケーションが取れるから重宝されましたよ。

**解説**

『英語は敵性語』と言われた時代だが、鎮西学院では戦時中も英語の授業があった。城崎さんが入学したころ、宣教師として来日した米国人も教壇に立っていたが、日米関係の悪化で帰国を余儀なくされた。



1943 (昭和18) 年ごろ 学校内教室 右から3番目に映るのが城崎さん

学校では軍事教練もありました。生徒には歩兵用の銃が渡されましたが、写真の通り私は友人たちより随分背が低かったので銃身が長すぎて同じものを扱えなかったんです。それで騎兵用の銃（馬に乗りながら使用する銃身の短い銃）を代わりに使わされたのですが、一人だけ違うもんだからそれが恥ずかしくて。

**解説**

戦時の兵力を強化するため、1925年4月には、陸軍現役将校学校配属令の公布により中学校以上の学校に現役将校が配属され、軍事教練（学校教練）が開始された。鎮西学院の校舎には地下室に武器庫があった。



クラスメイトとの写真 ※城崎さん以外の方のお名前を隠すため写真に加工を施しています。

提供：学校法人 鎮西学院

# 継承活動の持続可能性

## 平和活動を行う若者の悩み

高校卒業以降関わる受け口が少ない

ボランティア以外の関わりしろがない

# Peace Education Lab

価値観を変える  
学習体験を提供し、  
社会を変える人を育む。

私たちは長崎を訪れる国内外の方々への  
体験学習の提供と、  
長崎の若い世代を対象とした  
人材育成の、  
2つの事業に取り組みます。



TourとAcademyの両輪で取り組むことで、  
社会課題解決のために行動する人を、  
持続的に育みます。



参考資料：核兵器が持つリスク

# 長崎新聞

**If Russia were to use nuclear weapons, 91.5 million people would be killed and injured in a matter of hours.**  
ロシアが核兵器を使用すると、数時間以内には9150万人が死傷する。

According to a new study by a team of scientists at a research center at Princeton University (CIRES), a nuclear attack on Russia could kill or injure 91.5 million people in a matter of hours. The study, published in the journal *Science*, found that if Russia were to use nuclear weapons, 91.5 million people would be killed or injured in a matter of hours. The study, published in the journal *Science*, found that if Russia were to use nuclear weapons, 91.5 million people would be killed or injured in a matter of hours. The study, published in the journal *Science*, found that if Russia were to use nuclear weapons, 91.5 million people would be killed or injured in a matter of hours.

最新の研究によると、ロシアが核兵器を使用すると、数時間以内には9150万人が死傷する。この研究は、プリンストン大学のCIRESという研究センターの科学者によって行われた。研究は、*Science*という学術誌に掲載された。研究によると、ロシアが核兵器を使用すると、数時間以内には9150万人が死傷する。この研究は、プリンストン大学のCIRESという研究センターの科学者によって行われた。研究は、*Science*という学術誌に掲載された。

**Health effects caused by nuclear weapons last for life.**  
核兵器による健康被害は生涯にわたる。

Dr. Victor Tarakanov has found that even those who survive the initial blast and radiation can suffer from long-term health effects. These include cancer, birth defects, and other chronic conditions. The study, published in the journal *Science*, found that if Russia were to use nuclear weapons, 91.5 million people would be killed or injured in a matter of hours. The study, published in the journal *Science*, found that if Russia were to use nuclear weapons, 91.5 million people would be killed or injured in a matter of hours.

Dr. Victor Tarakanov has found that even those who survive the initial blast and radiation can suffer from long-term health effects. These include cancer, birth defects, and other chronic conditions. The study, published in the journal *Science*, found that if Russia were to use nuclear weapons, 91.5 million people would be killed or injured in a matter of hours. The study, published in the journal *Science*, found that if Russia were to use nuclear weapons, 91.5 million people would be killed or injured in a matter of hours.

**Women are twice as sensitive to radioactivity.**  
女性の方が放射線の影響を2倍受ける。

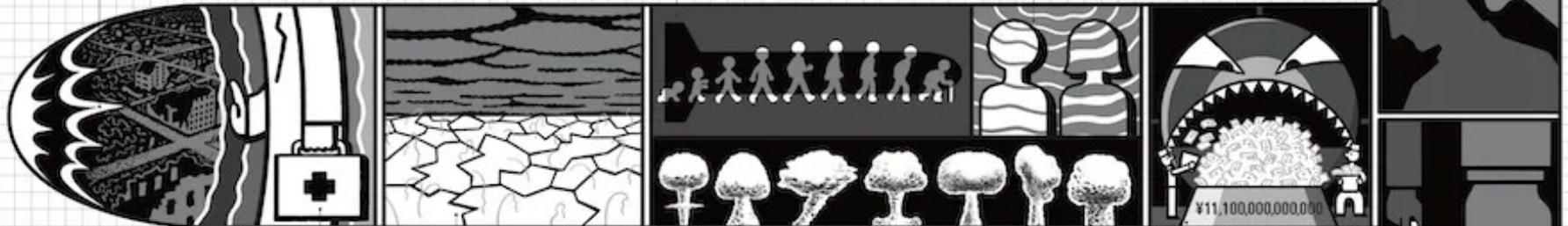
Based on the data from the Chernobyl disaster, scientists have found that women are twice as sensitive to radiation as men. This means that women are at a higher risk of developing cancer and other health problems if they are exposed to radiation. The study, published in the journal *Science*, found that if Russia were to use nuclear weapons, 91.5 million people would be killed or injured in a matter of hours.

Based on the data from the Chernobyl disaster, scientists have found that women are twice as sensitive to radiation as men. This means that women are at a higher risk of developing cancer and other health problems if they are exposed to radiation. The study, published in the journal *Science*, found that if Russia were to use nuclear weapons, 91.5 million people would be killed or injured in a matter of hours.

**It is pure luck that nuclear war hasn't happened yet.**  
今日まで核戦争が起きなかったのは奇蹟。

In 1945, the Soviet Union's early warning system for nuclear attacks was in place. This system allowed the Soviet Union to detect a nuclear attack before it could be launched. The study, published in the journal *Science*, found that if Russia were to use nuclear weapons, 91.5 million people would be killed or injured in a matter of hours.

In 1945, the Soviet Union's early warning system for nuclear attacks was in place. This system allowed the Soviet Union to detect a nuclear attack before it could be launched. The study, published in the journal *Science*, found that if Russia were to use nuclear weapons, 91.5 million people would be killed or injured in a matter of hours.



**If nuclear weapons are used, there is no way to effectively deliver humanitarian assistance to victims.**  
核兵器が使われた場合、救援が送れない。

When nuclear weapons are used, medical facilities, hospitals, and other infrastructure are destroyed. This makes it difficult to deliver humanitarian assistance to victims. The study, published in the journal *Science*, found that if Russia were to use nuclear weapons, 91.5 million people would be killed or injured in a matter of hours.

**Should nuclear warfare occur, widespread famine will ensue.**  
核戦争が起ると、広範囲な地域で飢饉が起る。

In the case of nuclear war between the US and Russia, there would be a significant impact on the global food supply. This is because nuclear war would destroy major agricultural areas. The study, published in the journal *Science*, found that if Russia were to use nuclear weapons, 91.5 million people would be killed or injured in a matter of hours.

**Nuclear weapons have been detonated in more places than just Hiroshima and Nagasaki.**  
核兵器が爆した場所は広島と長崎だけではない。

The number of nuclear weapons that have been detonated is much higher than most people realize. This is because many nuclear weapons have been tested in secret. The study, published in the journal *Science*, found that if Russia were to use nuclear weapons, 91.5 million people would be killed or injured in a matter of hours.

**The cost for maintaining nuclear weapons is as much as \$2.4 billion dollars per year.**  
核兵器を維持するのにかかる年間の費用は11兆円。

The cost of maintaining nuclear weapons is extremely high. This is because nuclear weapons require constant maintenance and testing. The study, published in the journal *Science*, found that if Russia were to use nuclear weapons, 91.5 million people would be killed or injured in a matter of hours.

Let's come together to have a round table discussion on nuclear weapons. 核兵器を囲んで話し合おう。

The UN Summit began in Hiroshima, a city that suffered an atomic bombing. Nagasaki, along with Hiroshima, knows the reality of the suffering caused by nuclear weapons. Nuclear weapons take many lives in an instant through fear, worry, the blast, and radiation, as well as completely destroy cities, but these are not the only reasons why they should come to exist. We're just in discussing the dangers of nuclear weapons, but not one by one, with us? From simple conversations with those nearby, to the international meetings where world leaders assemble, we hope that this discussion is begun on many different places.

このイベントが、核兵器廃絶につながります。核兵器は広島と長崎だけでなく、世界中の多くの国で開発されています。核兵器は人命を奪い、環境を破壊し、そして完全に都市を破壊しますが、それらは唯一の理由ではありません。核兵器がなぜ存在し続けるべきかについて話し合おう。核兵器廃絶を促すために、身近な人々との対話から、世界のリーダーが参加する国際会議まで、さまざまな場所で話し合おうと努めています。



ロシアが核兵器を使用すると、  
数時間後には9150万人が死傷する。

2019年にプリンストン大学の研究チームが公開した動画「PLAN A」によると、ロシアがNATOを威嚇するために一発の核兵器を使用するとロシアとアメリカの核戦争が勃発し、死傷者はわずか数時間で9150万人になるといわれている。現在両国が配備している核兵器の威力は、広島・長崎の数倍から数十倍。ウクライナ戦争をきっかけに、100倍の威力を持つ核魚雷をロシアが配備するのではないかと懸念されている。

武力か、対話か。



核兵器が使用された場合、  
外部から助けられない。

核兵器が使用された場合、医療施設・医師・物資も破壊され、決定的に不足する。また放射線の影響により、医療従事者が救援に入ることも、逃げてきた負傷者に治療することも困難な状況になる。赤十字国際委員会(ICRC)は、こうした核兵器使用後の医療の側面から核兵器禁止条約の必要性を訴え続けている。

武力か、対話か。

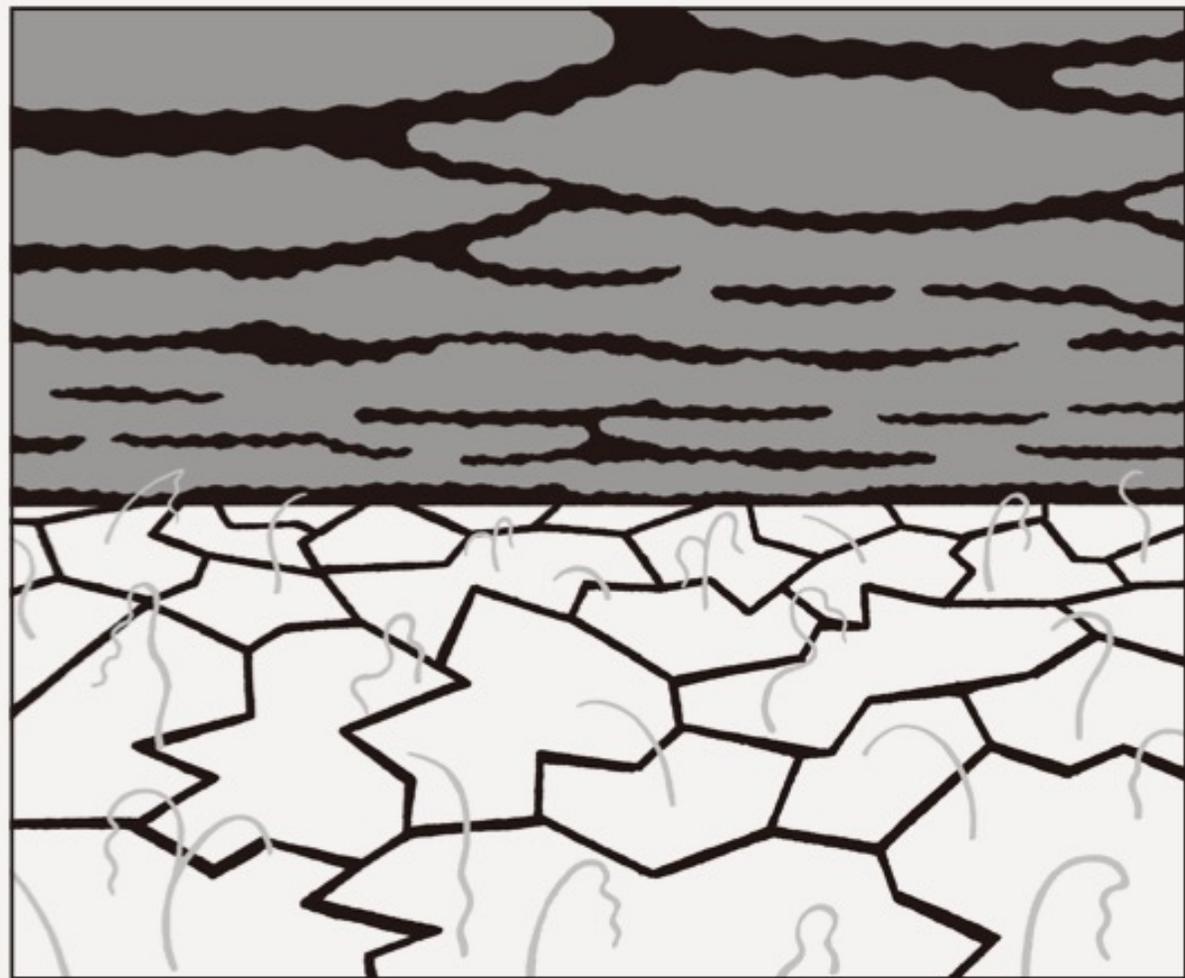


核戦争が起こると、

広範囲な地域で飢餓が続く。

核兵器が大量に使用されると発生した黒い雲が地球に留まり続け、数年にわたって太陽光を遮断する。その結果、地球の温度が氷河期レベルに下がり、世界の食糧生産が大きく減少。これに貿易制限も加わることで、世界規模で食糧が不足する。2022年にNature Food誌に発表された研究論文によると、インドとパキスタンの限定的な核戦争によって引き起こされる食糧危機によって、20億人以上が死亡する可能性があり、アメリカとロシアが核戦争を行った場合、約50億人が死亡する可能性があるといわれている。

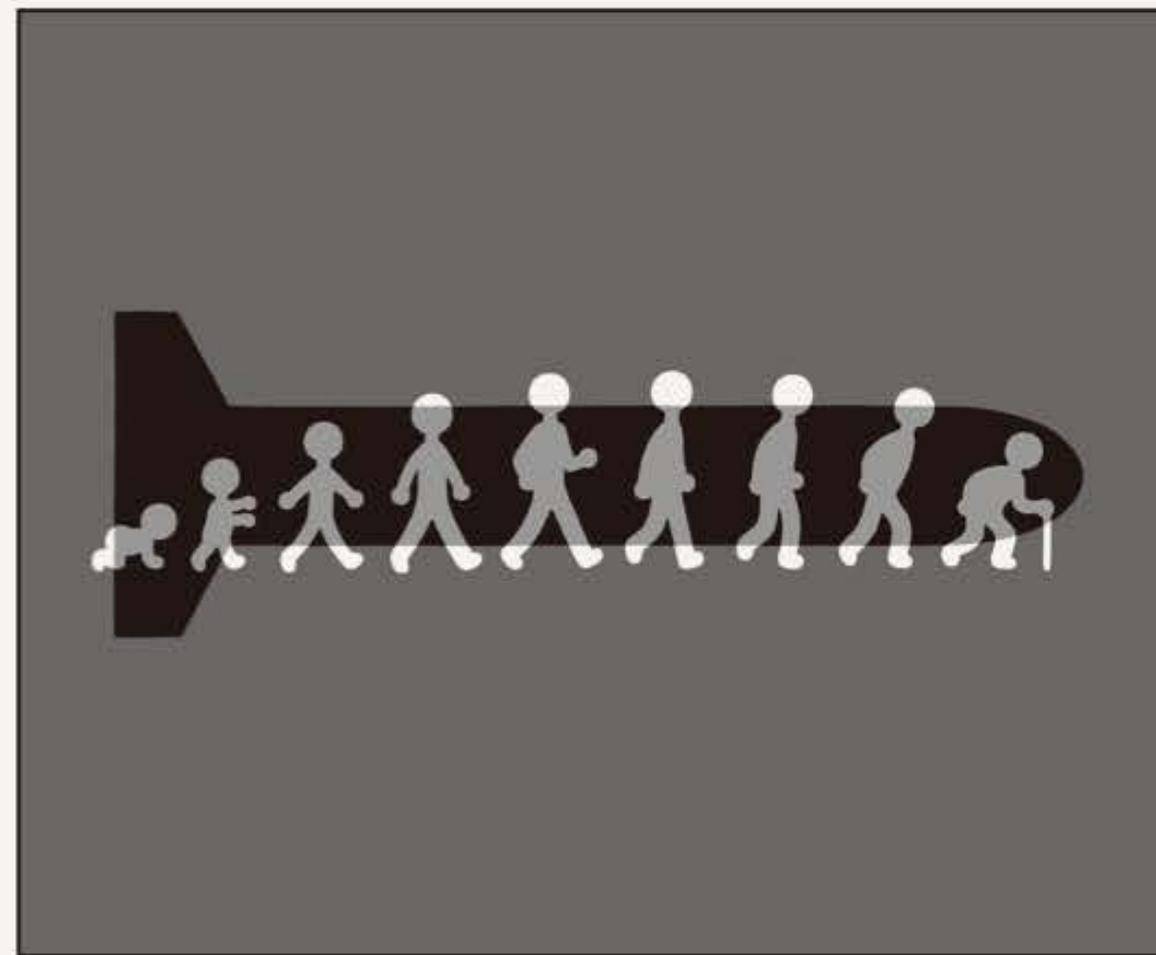
武力か、対話か。



## 核兵器による健康被害は生涯続く。

医師の朝長万左男さんは、長年の研究の成果として、被爆者は生涯、がんなどの発症リスクを抱えることを明らかにした。被爆から数年後、白血病が増加。その後はがんの発生率が上昇し、複数タイプのがんを併発することもあり、発症のタイミングは人や環境によって異なる。家族の死や、自らの病気、病気への不安からうつ病など心理障害を患う人も少なくない。

武力か、対話か。



## 女性の方が、放射能の影響を2倍受ける。

核廃棄物専門家のメアリー・オルソンさんは、広島・長崎のデータを解析。放射線の影響には男女差があり、男性より女性が2倍高く影響が出ると発表している。女性の方が影響を受けるにも関わらず、核兵器に関する様々な政策決定や履行のプロセスに女性はほとんど参画できていない。

武力か、対話か。



核兵器が落とされたのは  
広島・長崎だけではない。

核兵器の被害者は広島・長崎の被爆者だけではない。1945年以降、核保有国がおこなった2050回以上の核実験によって、世界中で多くの人が被ばくしている。実験はワシントンやモスクワなどの大都市から遠く離れ、多くの場合は植民地や先住民族の暮らしている土地で実施されてきた。

武力か、対話か。



## 核兵器を維持するための年間予算は11.1兆円。

核保有国(アメリカ、ロシア、イギリス、フランス、中国、インド、イスラエル、パキスタン、北朝鮮)が2021年の1年間に使った費用は計824億ドル(約11.1兆円)。ウクライナ戦争の影響もあり世界の飢餓人口は8億2800万人に増加しているが、約3兆円あれば世界食糧計画(WFP)が120カ国以上で1億5,200万人の人びとに支援活動を行うことができる。

武力か、対話か。



## 今日まで核戦争が起きなかったのは奇跡。

1983年、ソ連軍の衛星システムが米国からの核攻撃を受けたと警報を発した際、当時の司令官が状況から誤報と判断したことで核戦争が回避された。ほかにも、アメリカで避難訓練のアナウンスを本当の警報と判断し、核兵器を搭載した戦闘機が発進したケースなど、これまで13回以上、核戦争が始まる危機があったといわれている。

武力か、対話か。

